



なかしん

# 中小企業景況レポート

No.32 中栄信用金庫 地域支援部

2019年7月～9月実績と2019年10月～12月見込み

## ◆調査概要

調査時期 2019年9月上旬  
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町  
 調査企業数 345社  
 回答企業数 330社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	92	95.8
卸売業	29	29	100.0
小売・飲食業	61	60	98.3
サービス業	56	50	89.2
建設業	66	63	95.4
不動産業	37	36	97.2
合計	345	330	95.6

## ◆7月～9月期の概況

### ～業況判断 D.I. は3期連続悪化、マイナス域へ転じる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲4.5を示し、前回調査（2019年4～6月期）に比べ5.4ポイントの悪化となりました。

これは、海外情勢の不透明感を背景とした受注の減少に加え、建設業を中心に、人手不足が受注の抑制要因となるほか、消費増税に伴う個人消費低迷への懸念も足かせとなり、景況感は3期連続の悪化となっております。また約4割の企業が、従業員の処遇改善や人手不足に伴い、今春、賃金を引き上げたと回答する中、10月より、神奈川県内の最低賃金が初めて1,000円を越え、人件費の負担感が増していることから、今後も厳しい経営環境がうかがえます。

さらに特別調査によると、消費増税に伴い、小売・飲食業を中心に売上減少を見込んでおり、収益確保に向け、販売価格の見直しや新たな仕入先を検討する動きもみられます。また軽減税率制度導入に向けた対応について、「完了した」「ほぼ完了した」と回答する企業が、約3割にとどまることから、レジの改修や請求書記載方法などへの対応が課題となっております。

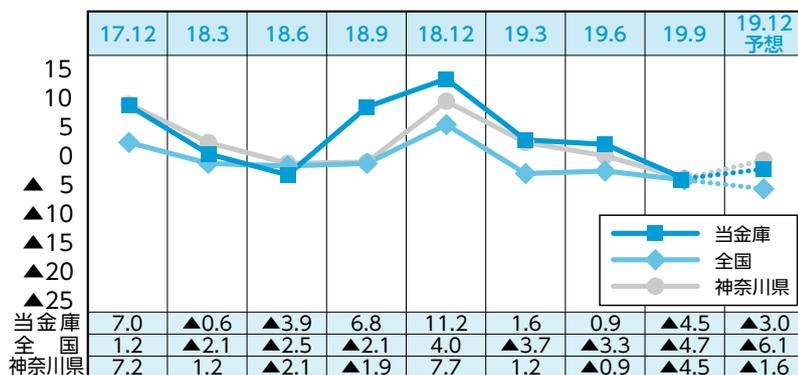
項目別にみると、売上実績 D.I. は2.2ポイント悪化の▲5.2、収益実績 D.I. は7.3ポイント悪化の▲10.3となっております。また、仕入価格 D.I. は2.6ポイント上昇の28.9、人手過不足 D.I. は2.4ポイント不足感が弱まり▲34.2、資金繰り D.I. は1.6ポイント悪化の▲15.5となっております。また業種別の景況感は、卸売業が18.0ポイント改善の▲3.4、小売・飲食業が2.3ポイント改善の▲18.4、建設業が横ばいの11.3、不動産業が5.0ポイント悪化の13.9、サービス業が14.1ポイント悪化の▲16.0、製造業が16.5ポイント悪化の▲7.6となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は1.4ポイント悪化の▲4.7、神奈川県内については3.6ポイント悪化の▲4.5となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

## ◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は、1.5ポイント改善の▲3.0、売上額 D.I. は8.8ポイント改善の3.6、収益 D.I. は8.1ポイント改善の▲2.2の予想となっております。

### 業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

### 業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調 悪い

# 製造業

## 概況

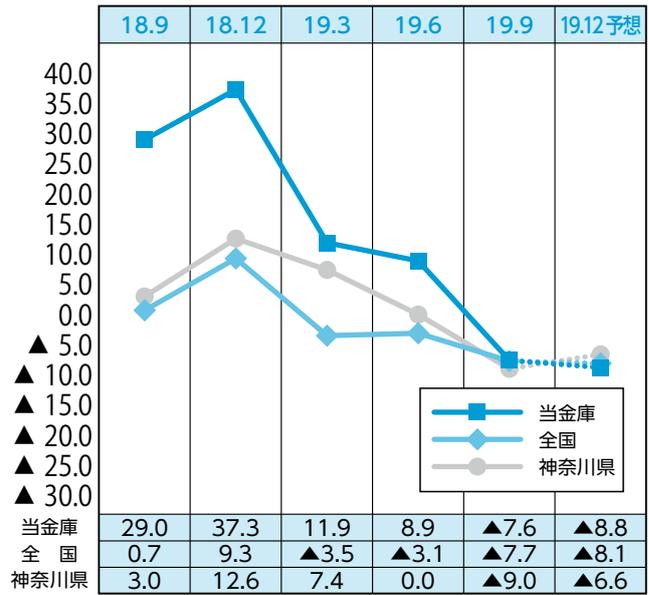
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.5 ポイント悪化の▲7.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 21.7 ポイント悪化の▲18.5、収益 D.I. は 26.0 ポイント悪化の▲25.0 となっております。

海外情勢の不透明感に伴い、取引先を通じて間接的な影響を受けている企業が一部で見受けられることに加え、夏期休暇等による稼働日数の減少や人件費負担の増加から、景況感は 3 年ぶりにマイナス域へ転じております。また一部企業においては、人手不足の中、パート従業員の雇用促進に向け、職場環境の改善に努める動きがみられるほか、各種認定・表彰制度に申請し、企業の社会的認知度向上や従業員のモチベーション向上に努める動きもみられます。

なお、全国は 4.6 ポイント悪化の▲7.7 となっており、神奈川県は 9.0 ポイント悪化の▲9.0 となっております。

来期の予想業況判断については、1.2 ポイント小幅悪化の▲8.8 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	26.0	51.2	22.8	D.I.
当期実績	26.0	29.5	44.5	▲18.5	
来期予想	30.0	44.5	25.5	4.5	
前年同期比	27.1	29.5	43.4	▲16.3	

### 販売価格

	前期実績	+ 4.3	91.4	4.3	D.I.
当期実績	+ 6.5	84.9	8.6	▲2.1	
来期予想	+ 5.5	85.7	8.8	▲3.3	

### 在庫

	前期実績	+ 8.6	87.1	4.3	D.I.
当期実績	13.0	84.9	2.1	10.9	
来期予想	+ 10.0	87.8	2.2	7.8	

### 人手

	前期実績	+ 7.6	54.4	38.0	D.I.
当期実績	+ 10.8 <td>64.2</td> <td>25.0</td> <td>▲14.2</td>	64.2	25.0	▲14.2	
来期予想	11.1	58.9	30.0	▲18.9	

### 収益

	前期実績	26.0	49.0	25.0	D.I.
当期実績	17.3	40.4	42.3	▲25.0	
来期予想	22.2	50.1	27.7	▲5.5	
前年同期比	22.8	30.5	46.7	▲23.9	

### 原材料価格

	前期実績	25.0	74.0	1.0	D.I.
当期実績	26.3	73.7		26.3	
来期予想	24.7	73.1	2.2	22.5	

### 資金繰り

	前期実績	+ 7.6	78.3	14.1	D.I.
当期実績	+ 7.6 <td>75.1</td> <td>17.3</td> <td>▲9.7</td>	75.1	17.3	▲9.7	
来期予想	+ 4.4	79.0	16.6	▲12.2	

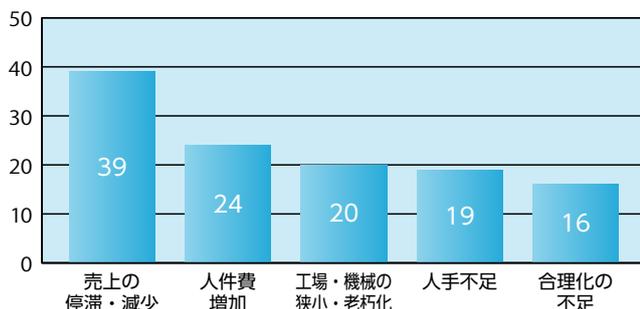
### 設備状況

	前期実績	+ 3.3	70.1	26.6	D.I.
当期実績	+ 2.2 <td>75.6</td> <td>22.2</td> <td>▲20.0</td>	75.6	22.2	▲20.0	
来期予想	+ 3.4	73.9	22.7	▲19.3	

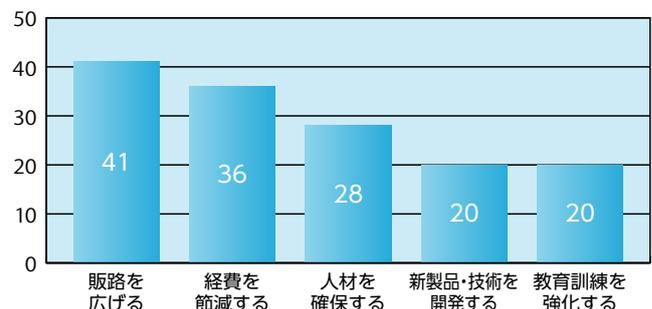
当期実績…2019年 7～ 9月期  
来期予想…2019年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 卸売業

## ●概況

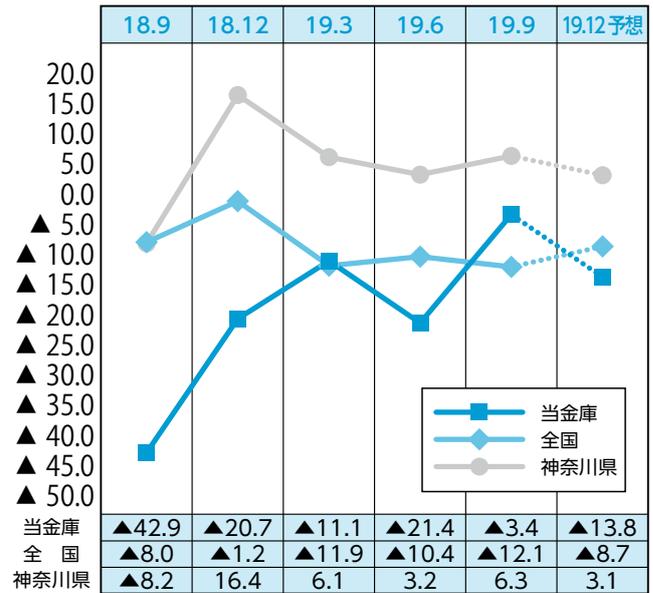
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.0 ポイント改善の▲3.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 38.8 ポイント改善の 10.3、収益 D.I. は 11.2 ポイント改善の▲13.8 となっております。

これは建材卸を中心とした受注の増加に加え、一部企業においては、商品・サービスラインの拡張に伴う売上増加がみられたことから、売上額・収益 D.I. が改善となり、景況感は改善に至っております。また経営上の問題点として、小口注文・多頻度配送の増加を挙げる企業が増加し、配送の効率化を課題とする企業が見受けられます。

なお、全国は 1.7 ポイント悪化の▲12.1 となっており、神奈川県は 3.1 ポイント改善の 6.3 となっております。

来期の予想業況判断については、10.4 ポイント悪化の▲13.8 となっております。

## ●業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+10.7	50.1	39.2	▲28.5	
当期実績	34.4	41.5	24.1	10.3	
来期予想	27.5	45.0	27.5	0.0	
前年同期比	41.3	38.1	20.6	20.7	

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+10.7	89.3	10.7	
当期実績	13.7	82.9	3.4	10.3
来期予想	17.2	82.8	17.2	

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+10.7	82.2	7.1	3.6
当期実績	13.7	79.5	6.8	6.9
来期予想	17.2	79.4	3.4	13.8

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+3.5	64.4	32.1	▲28.6
当期実績	+3.5	71.5	25.0	▲21.5
来期予想	67.9	32.1	▲32.1	

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+7.1	60.8	32.1	▲25.0	
当期実績	13.7	58.8	27.5	▲13.8	
来期予想	13.7	55.3	31.0	▲17.3	
前年同期比	37.9	34.6	27.5	10.4	

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	42.8	50.1	7.1	35.7
当期実績	41.3	55.3	3.4	37.9
来期予想	41.3	55.3	3.4	37.9

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+7.1	64.4	28.5	▲21.4
当期実績	+6.8	62.2	31.0	▲24.2
来期予想	+6.8	62.2	31.0	▲24.2

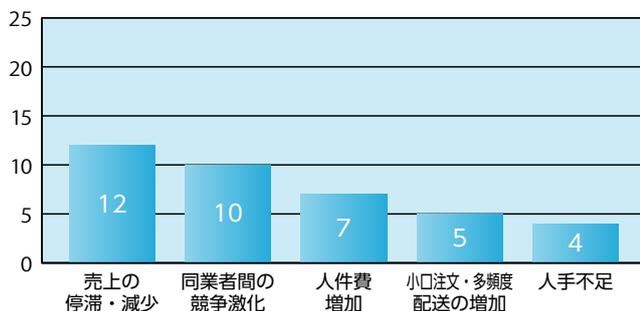
### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	89.3	10.7	▲10.7	
当期実績	92.4	7.6	▲7.6	
来期予想	92.4	7.6	▲7.6	

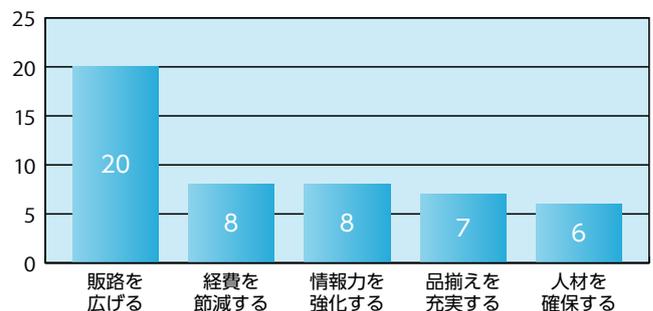
当期実績…2019年7～9月期  
来期予想…2019年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 小売・飲食業

## 概況

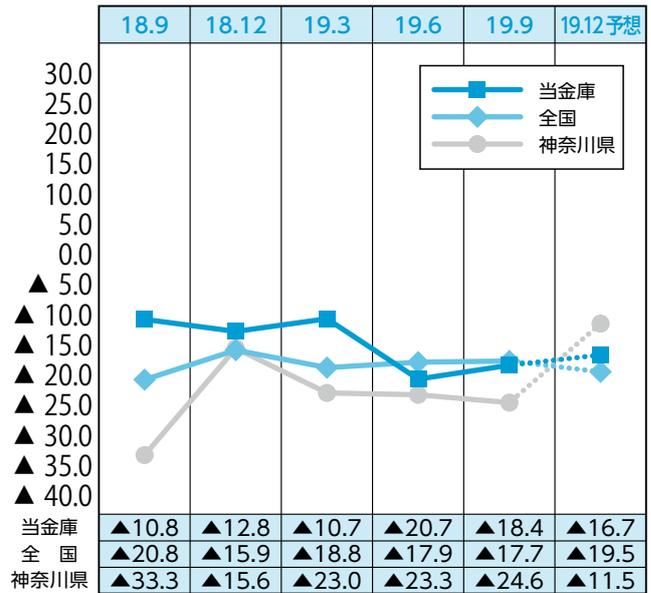
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.3 ポイント改善の▲18.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 10.0 ポイント改善の▲15.0、収益 D.I. は 0.8 ポイント小幅改善の▲11.7 となっております。

一部では消費増税前の駆け込み需要がみられたものの、増税後の個人消費低迷への懸念とともに仕入先からの値上げ要請を課題とする企業も見受けられることから、景況感はマイナス域が続いております。また一部企業では、軽減税率制度導入への対応策として、補助金を活用したレジの改修を行う動きや品揃え・メニューの改善を行う動きもみられます。

なお、全国はほぼ横ばいの▲17.7 となっており、神奈川県は 1.3 ポイント小幅悪化の▲24.6 となっております。

来期の予想業況判断については、1.7 ポイント改善の▲16.7 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	19.6	35.8	44.6	D.I.
前期実績	19.6	35.8	44.6	▲25.0	
当期実績	28.3	28.4	43.3	▲15.0	
来期予想	30.0	31.7	38.3	▲8.3	
前年同期比	16.9	44.2	38.9	▲22.0	

### 販売価格

	前期実績	14.2	76.9	8.9	D.I.
前期実績	14.2	76.9	8.9	5.3	
当期実績	16.6	78.4	5.0	11.6	
来期予想	33.3	61.7	5.0	28.3	

### 在庫

	前期実績	-10.7	82.2	7.1	D.I.
前期実績	-10.7	82.2	7.1	3.6	
当期実績	-1.6	93.4	5.0	▲3.4	
来期予想	-8.3	88.4	3.3	5.0	

### 人手

	前期実績	-5.2	54.5	40.3	D.I.
前期実績	-5.2	54.5	40.3	▲35.1	
当期実績	-6.6	46.8	46.6	▲40.0	
来期予想	-6.6	48.4	45.0	▲38.4	

### 収益

	前期実績	23.2	41.1	35.7	D.I.
前期実績	23.2	41.1	35.7	▲12.5	
当期実績	28.3	31.7	40.0	▲11.7	
来期予想	28.3	33.4	38.3	▲10.0	
前年同期比	15.2	49.3	35.5	▲20.3	

### 仕入価格

	前期実績	26.7	68.0	5.3	D.I.
前期実績	26.7	68.0	5.3	21.4	
当期実績	25.0	71.7	3.3	21.7	
来期予想	38.3	55.1	6.6	31.7	

### 資金繰り

	前期実績	-10.7	59.0	30.3	D.I.
前期実績	-10.7	59.0	30.3	▲19.6	
当期実績	-10.0	61.7	28.3	▲18.3	
来期予想	-10.0	61.7	28.3	▲18.3	

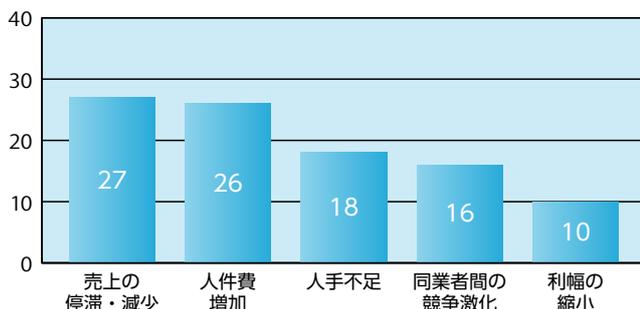
### 設備状況

	前期実績	+3.5	84.0	12.5	D.I.
前期実績	+3.5	84.0	12.5	▲9.0	
当期実績	+3.3	84.9	11.8	▲8.5	
来期予想	-1.6	84.9	13.5	▲11.9	

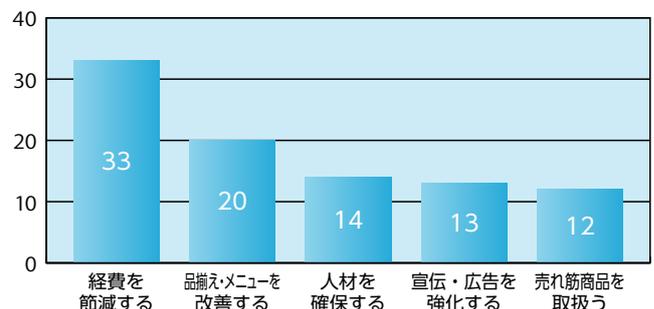
当期実績…2019年 7～ 9月期  
来期予想…2019年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
過剰、楽 適正 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# サービス業

## 概況

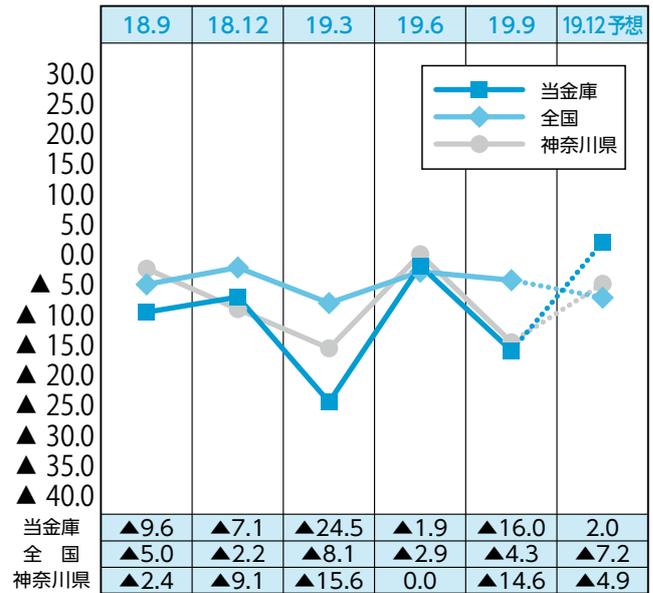
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 14.1 ポイント悪化の▲16.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. はほぼ横ばいの 2.0、収益 D.I. は 2.5 ポイント悪化の▲10.0 となっております。

運送業では、人手不足に伴う受注機会の損失や燃料費負担の増加がみられたほか、介護事業や運送業を中心に、経営上の問題点として、人件費の増加を挙げる企業が増加していることから、資金繰り D.I. は 7.7 ポイント悪化の▲36.0 となり、景況感は悪化に至っております。また一部の介護事業所では、入所利用率の維持に向け、ケアマネージャーに対する施設の周知に注力する企業が見受けられます。

なお、全国は 1.4 ポイント小幅悪化の▲4.3 となっており、神奈川県は 14.6 ポイント悪化の▲14.6 となっております。

来期の予想業況判断については、18.0 ポイント改善の 2.0 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	37.7	26.5	35.8		1.9
当期実績	30.0	42.0	28.0		2.0
来期予想	26.0	48.0	26.0		0.0
前年同期比	36.0	40.0	24.0		12.0

### 料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	9.6	86.6	3.8	5.8
当期実績	8.1	83.8	8.1	0.0
来期予想	22.4	73.6	4.0	18.4

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	5.6	60.5	33.9	▲28.3
当期実績	4.0	56.0	40.0	▲36.0
来期予想	14.2	53.2	32.6	▲18.4

### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	1.9	77.0	21.1	▲19.2
当期実績	4.0	65.4	30.6	▲26.6
来期予想	4.0	67.5	28.5	▲24.5

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	28.3	35.9	35.8		▲7.5
当期実績	20.0	50.0	30.0		▲10.0
来期予想	24.0	48.0	28.0		▲4.0
前年同期比	30.0	46.0	24.0		6.0

### 材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	32.6	65.5	1.9	30.7
当期実績	24.4	75.6		24.4
来期予想	40.8	59.2		40.8

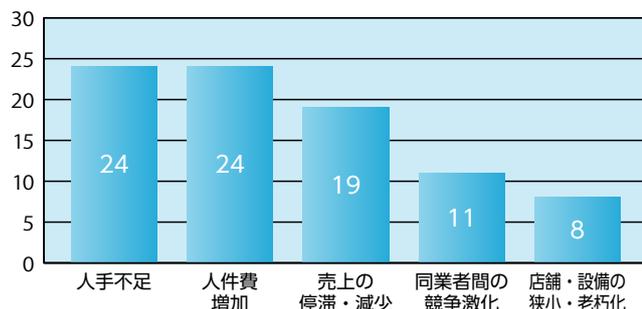
### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	5.6	43.5	50.9	▲45.3
当期実績	6.0	44.0	50.0	▲44.0
来期予想	4.0	44.0	52.0	▲48.0

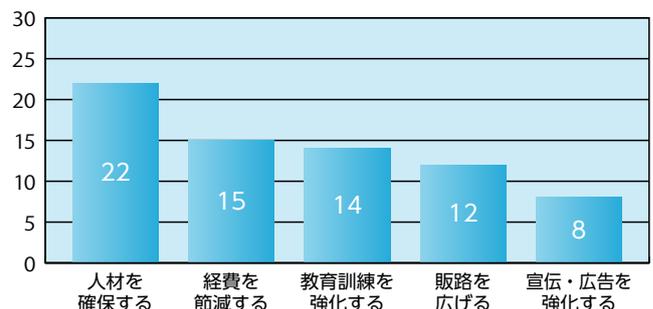
当期実績…2019年7～9月期  
来期予想…2019年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 建設業

## 概況

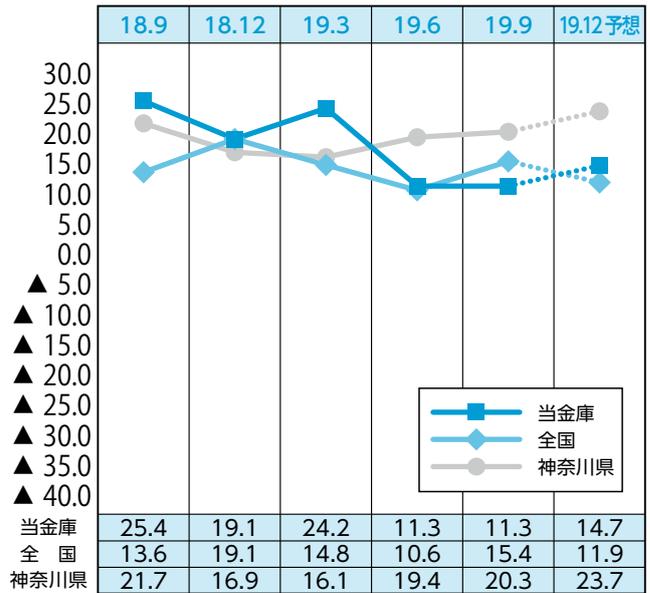
建設業の業況判断D.I.は前回調査から横ばいの11.3となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比1.6ポイント悪化の7.9、収益D.I.は4.8ポイント改善の3.2となっております。

一部企業においては、労務費や資材価格上昇分の価格転嫁がみられ、請負価格D.I.は7.9ポイント改善の6.3となり、収益D.I.は改善に至ったものの、人手過不足D.I.が▲62.9と、人手不足感が過去最も強まり、受注の抑制要因となっていることから、景況感は横ばいとなっております。また、建設資材不足や天候不順により、工期が延長している企業が見受けられる中、一部では効率化を図るため、業務管理システムの導入を検討する動きもみられます。

全国は4.8ポイント改善の15.4となっており、神奈川県は0.9ポイント小幅改善の20.3となっております。

来期の予想業況判断については、3.4ポイント改善の14.7となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	D.I.			
前期実績	33.3	42.9	23.8	9.5
当期実績	31.7	44.5	23.8	7.9
来期予想	36.5	46.1	17.4	19.1
前年同期比	39.6	30.3	30.1	9.5

### 請負価格

	D.I.			
前期実績	9.5	79.4	11.1	▲1.6
当期実績	14.2	77.9	7.9	6.3
来期予想	20.6	74.7	4.7	15.9

### 在庫

	D.I.			
前期実績	3.2	93.6	3.2	0.0
当期実績	11.1	84.2	4.7	6.4
来期予想	11.2	84.0	4.8	6.4

### 人手

	D.I.			
前期実績	3.2	41.1	55.7	▲52.5
当期実績	1.6	33.9	64.5	▲62.9
来期予想	1.6	35.5	62.9	▲61.3

### 収益

	D.I.			
前期実績	22.2	54.0	23.8	▲1.6
当期実績	30.1	43.0	26.9	3.2
来期予想	28.5	58.9	12.6	15.9
前年同期比	33.3	36.6	30.1	3.2

### 材料価格

	D.I.			
前期実績	38.7	61.3		38.7
当期実績	46.0	52.5	1.5	44.5
来期予想	49.2	50.8		49.2

### 資金繰り

	D.I.			
前期実績	11.1	66.7	22.2	▲11.1
当期実績	14.2	60.5	25.3	▲11.1
来期予想	14.2	60.5	25.3	▲11.1

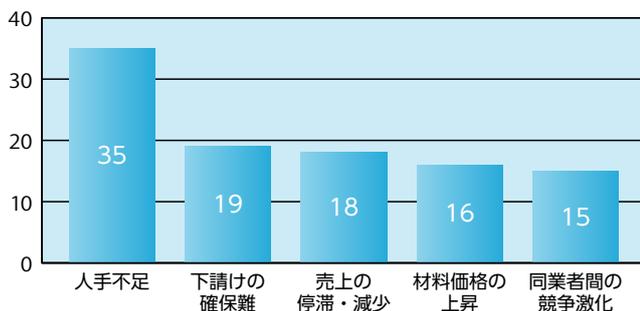
### 設備状況

	D.I.			
前期実績	1.6	88.6	9.8	▲8.2
当期実績	1.5	92.2	6.3	▲4.8
来期予想	1.5	90.6	7.9	▲6.4

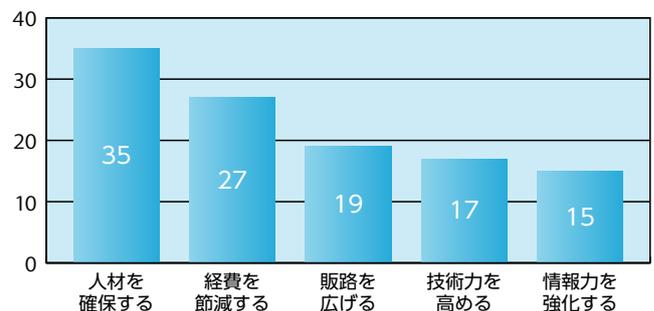
当期実績…2019年7～9月期  
来期予想…2019年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 不動産業

## 概況

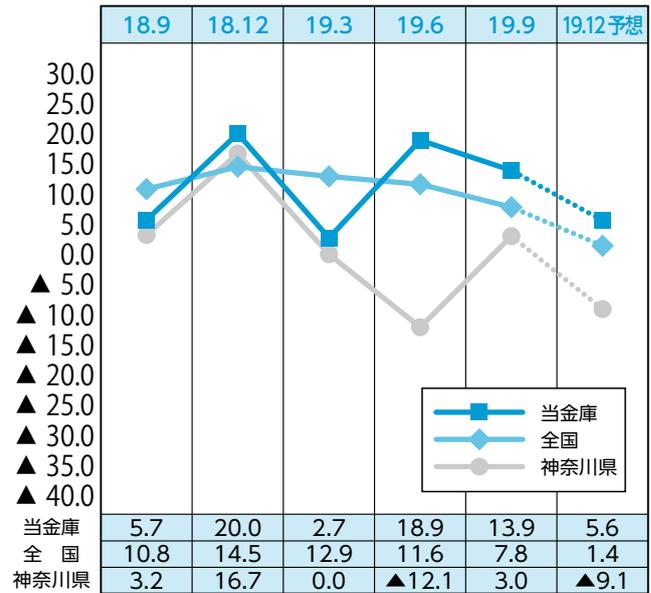
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.0 ポイント悪化の 13.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.4 ポイント悪化の 0.0、収益 D.I. は 13.3 ポイント悪化の 8.3 となっております。

一部企業においては、建設事業者の工期遅れにより、仕入物件の商品化に時間を要している企業がみられるとともに、仕入価格上昇分の価格転嫁に苦慮する企業も見受けられることから、売上額・収益 D.I. は悪化となり、景況感は悪化に至っております。また一部の建売事業者においては、施工単価の上昇から、建設事業者の見直しを行う企業もみられます。

全国は 3.8 ポイント悪化の 7.8 となっており、神奈川県は 15.1 ポイント改善の 3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、8.3 ポイント悪化の 5.6 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	27.0	51.4	21.6		5.4
当期実績	25.0	50.0	25.0		0.0
来期予想	22.2	58.4	19.4		2.8
前年同期比	33.3	47.3	19.4		13.9

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+8.1	81.1	10.8		▲2.7
当期実績	+8.3	72.3	19.4		▲11.1
来期予想	+5.5	80.7	13.8		▲8.3

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+2.7	62.2	35.1		▲32.4
当期実績	11.1	55.6	33.3		▲22.2
来期予想	11.1	52.8	36.1		▲25.0

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	78.4	21.6			▲21.6
当期実績	77.8	22.2			▲22.2
来期予想	75.0	25.0			▲25.0

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	35.1	51.4	13.5		21.6
当期実績	33.3	41.7	25.0		8.3
来期予想	22.2	58.4	19.4		2.8
前年同期比	30.5	52.9	16.6		13.9

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+10.8	83.8	5.4		5.4
当期実績	25.0	69.5	5.5		19.5
来期予想	19.4	77.9	2.7		16.7

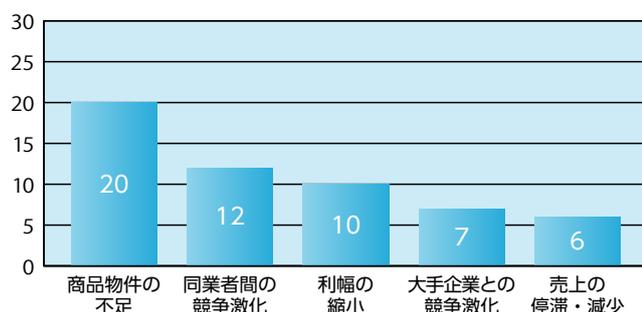
### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+5.4	86.5	8.1		▲2.7
当期実績	11.1	80.6	8.3		2.8
来期予想	11.1	80.6	8.3		2.8

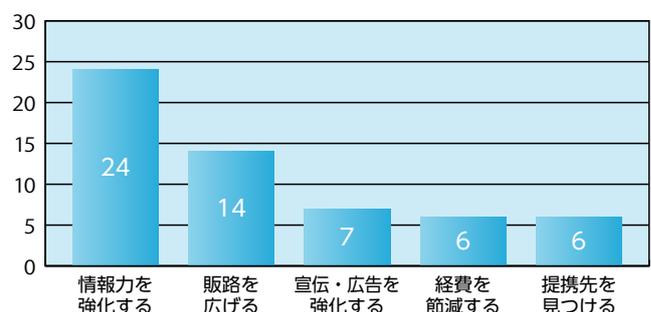
当期実績…2019年7～9月期  
来期予想…2019年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 345 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）について、貴社では、販売価格にどの程度反映（転嫁）できると考えていますか。1つ選んでお答えください。

- 全て反映（転嫁）できる ..... 149社
- 一部のみ反映（転嫁）にとどまる ..... 72社
- まったく反映（転嫁）できない ..... 27社
- わからない ..... 81社

問2. 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）は、当面の貴社の売上げに対し、どのような影響を与えると思えますか。1つ選んでお答えください。

- 今年10月末ごろまで減少する ..... 7社
- 今年12月末ごろまで減少する ..... 25社
- 来年3月末ごろまで減少する ..... 23社
- 来年6月末ごろまで減少する ..... 4社
- 来年7月以降も減少する ..... 13社
- どちらともいえない ..... 98社
- 影響はない・変わらない ..... 99社
- むしろ増加する ..... 1社
- わからない ..... 59社
- その他 ..... 0社

問3. 今年（2019年）10月からの消費税率引上げ（8%→10%）後の収益を確保するために、貴社ではどのような対策を考えていますか。3つ以内で選んでお答えください。

- これまでと変わらない ..... 151社
- いっそうの経費削減につとめる ..... 83社
- 仕入価格の上昇を抑える ..... 68社
- 販売価格を個別品目・区分ごとに見直す ..... 54社
- 現状の業容を拡大する ..... 44社
- 販売価格を全面的に引き上げる ..... 39社
- 新しい仕入先を検討する ..... 28社
- 駆け込み需要の平準化につとめる ..... 19社
- 新事業・分野への進出を検討する ..... 12社
- その他 ..... 5社

問4. 貴社は、今回導入される予定の軽減税率制度について、レジの改修や帳簿、請求書、価格表示変更などの何らかの対応をとっていますか。1つ選んでお答えください。

- 対応は完了した ..... 35社
- 対応はほぼ完了した ..... 70社
- 対応を始めたが、間に合わない ..... 12社
- 対応すべきだが、できていない ..... 43社
- 自社とは関係がない ..... 121社
- そもそも、自社と関係があるかわからない ..... 42社

問5. 消費増税など経済環境が大きく変化しているなかで、貴社では、今春、賃金を引き上げましたか。引き上げた場合は、その理由について、最もあてはまるものを1つお答えください。引き上げていない場合は、その理由について、最もあてはまるものを1つお答えください。

（賃金を引き上げた理由）

- 従業員の処遇改善 ..... 92社
- 人手不足を背景とした賃金上昇 ..... 28社
- 自社の業績改善を反映 ..... 18社
- アベノミクスの流れを踏襲 ..... 1社
- その他 ..... 5社

（賃金を引き上げていない理由）

- 当面のところは様子を見ている ..... 95社
- 景気見通しが不透明 ..... 38社
- 自社の業績低迷 ..... 28社
- 諸経費増で支払余力なし ..... 8社
- その他 ..... 8社

## 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）のご紹介

今回は、中小企業が抱える技術的な課題に対し、基礎研究から事業化まで一貫した支援を行う専門機関（本所海老名市）をご紹介します。当金庫では、外部機関と積極的に連携を図り、お客さまの経営課題の解決をお手伝いいたします。

【支援メニュー】

試験計測	工業製品・部品・原材料等の開発に必要な分析・測定等の各種試験を実施。（有料）
機器利用	研究所の試験装置等の利用が可能。（有料）
商品開発支援	デザイン支援、新製品開発・商品化に向けた技術・事業化支援、新商品開発及び販路開拓支援を実施。
人材育成	実践的な技術研修を通し、企業の技術者・研究者の技術力や開発力の向上支援を実施。
技術連携	企業・大学・官公庁等が保有する技術情報を紹介。



施設見学会の様子

※KISTECホームページ <https://www.kanagawa-iri.jp/>